

# 褥瘡対策チームにおける皮膚・排泄ケア 認定看護師(WOC看護師)の活動

東京大学大学院医学系研究科  
健康科学・看護学専攻  
老年看護学／創傷看護学分野  
真田 弘美

前日本褥瘡学会庶務担当理事  
日本創傷・オストミー・失禁管理学会理事長

PhD, RN, CWOCN

# プレゼンテーションの趣旨と内容

## 趣旨

褥瘡対策において、チーム医療体制をどのように構築したか、  
その中で皮膚・排泄ケア認定看護師（以下WOC看護師）をどのように活用したか、  
学会活動からみた組織体制作りとその評価方法について紹介する

## 内容

1. 褥瘡対策におけるチーム医療の必要性
  - 1) WOC看護師の専門性
  - 2) 医療にとって褥瘡が持つ意味
  - 3) 褥瘡対策に関する制度
2. チーム医療の推進における学会の役割（日本褥瘡学会）
  - 1) 共通用語としてのアセスメントツールの開発、指針の作成
  - 2) 職種別褥瘡認定師制度の導入
3. WOC看護師による活動評価－費用対効果（現JWOCM学会）
4. 創傷ケア領域でのWOC看護師の活動範囲の拡大とその教育
5. 褥瘡対策からみたチーム医療の課題

# WOC看護師の活動の変遷

- 1976年 日本初のET(外科医)誕生
- 1981年 日本ET協会設立ー**ストーマケア**
- 1984年 日本ストーマリハビリテーション学会の設立
- 1997年 創傷・オストミー・失禁看護認定看護師誕生ー**褥瘡ケア**
- 1998年 日本褥瘡学会の設立
- 2002年 褥瘡対策未実施減算
- 2006年 日本ET協会から日本ET/WOC協会へ改名
- 2006年 褥瘡ハイリスク患者ケア加算ー褥瘡管理者 (**WOC看護師**)
- 2007年 皮膚・排泄ケア認定看護師へ名称変更
- 2008年 糖尿病合併症管理料ー**フットケア、失禁ケア**
- 2009年 日本ET/WOC協会から日本創傷・オストミー・失禁管理学会 (JWOCCM)に改組

WOC看護師は、6ヶ月の研修を受け、日本看護協会が行う認定試験に合格している

認定機関数:13校、認定者数:1132名(2009年7月現在)

# 1-1) WOC看護師の専門性

## WOC領域におけるスキンケアを専門とする

- Wound(創傷) Ostomy(人工肛門・膀胱) Continence(失禁)

## 歴史的背景—米国の資格(1976年に日本の外科医が取得)

- ストーマケアからはじまり(スキンケアを通して、創傷管理、失禁管理へと領域を拡大(33年間の歴史))

## WOC領域に共通した専門性—排泄に起因するスキントラブルへの対応

### 1. 横断的活動の実践

スキンケアという技術は急性期から慢性期、終末期、また外来、病棟を問わずあらゆる場で必要とされる

### 2. 医師との協働

ストーマ管理、創傷管理は医療処置の範疇であることが多く、常に医師との協働が必要であった

# 排泄に起因したスキントラブルへの対応 — 医師との協働の必然性 —



オムツのずれによる褥瘡



下痢性接触皮膚炎



人工肛門周囲皮膚炎

排泄に起因するスキントラブルは痛み強く、また排泄を人に委ねることは、  
人としての尊厳を最も揺るがし、患者の苦痛は増大する



しかし、外用薬を処方する(医師の役割)だけでは治癒しない



排泄ケアに対する特殊技術、スキンケア技術(看護師の役割)が優先される